

文化的景観の保全と活用に向けた五島市久賀島地区景観計画の策定

長崎県五島市

- 久賀島まちづくり協議会の設置(地域づくり全体について総合的な意見交換の場)
- 久賀島景観まちづくり計画(案)の策定
- 久賀島観光ガイドブックの作成・配布(協議会の検討を経て作成した)
- 久賀島まちづくり社会実験の実施(観光インフォメーションの設置、アンケート調査)

概要	<p>「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産暫定リストに登録され、五島市久賀島の旧五輪協会も構成資産に選ばれている。今回の取り組みでは、旧五輪教会堂を含め多くのキリスト教関連遺産が存在し、島全体の「重要文化的景観」への申し出に向けた調査を進めている久賀島を対象として、「久賀島まちづくり協議会」を設置し、過疎化など地域景観の抱える課題に対する総合的な施策を検討し、「久賀島景観まちづくり計画(案)」としてとりまとめるとともに、島の文化的景観としての価値を伝える「久賀島観光ガイドブック」を作成し、さらに久賀島まちづくり社会実験を実施し、観光インフォメーションの設置、ガイドブックの配布、島の景観維持への協力意志に関する来訪者へのアンケート調査を行った。</p>
実施内容	<p>キリスト教関連施設の維持管理体制の構築 国の文化財である旧五輪教会堂をはじめとするキリスト教関連施設に関する、災害時等の大規模な補修を行う国と日常的な管理を行う信徒、教会周辺の修景事業を行う県・市の、維持管理の内容や役割分担、費用負担等に関する統一なルール構築に向けた検討を行った。さらに市外に住む五島出身者が、教会関連施設の維持管理活動に参加できるような仕組みづくりを検討した。</p> <p>棚田や段畑の維持活動を支援するルールや体制の構築 文化的景観の構成する集落の段畑や棚田を維持していくための支援体制やルールに関する検討を行った。観光振興による地域住民の所得向上と生きがいの創出に向けて、ツーリズム観光の推進を図ることとし、民泊、体験プログラム、ガイドツアー、観光協力金などにより、市民や来訪者、五島出身者等が農地の維持活動に参加できる仕組みづくりについて、具体的なプログラムや実施に向けたステップを検討をした。</p> <p>建築物や農業・漁業関連施設等の形態意匠に関するルールの検討 現在は落ち着いた佇まいをもった景観が形成されているが、今後、地区の観光化を推進する中で、外部資本や移住者により住宅や店舗等が建設される際に、文化的景観への調査に配慮してもらわなければならない。そこで、島内の全ての建築物、工作物(約700件)について高さ等の構造、色彩や屋根形式等の形態意匠について調査し、これまで地域で守られてきた暗黙のルールを明らかにし、ルールとして協議会で共有した。</p> <p>観光客のマナー向上に向けた島内ルールの検討 世界遺産の暫定リストに登録されたことによる観光資源としての注目を集める中、観光地化による弊害が各地区で見られているため、観光客の地域に対する理解を促進することを目指し、観光ガイドブックの作成、ガイドツアーや統一案内サインの設置など観光マナーの向上に向けた取組みを実施していくこととした。</p>
取組の成果	<p>文化的景観の保全と活用には、その「担い手」の存在が欠かせない。担い手の中心はもちろん島民であるが、協議会での議論を経て、地区間の物理的な距離、生業や信仰の違いを踏まえた現実的な協力体制を計画することができたと考えている。また、観光客の増加が島民の暮らしに対して弊害をもたらしている状況に対し、観光受け入れ体制を計画し、さらに社会実験でアンケート調査を実施することによって、観光客、特に五島市民や市外の五島出身者、カトリック信徒らが文化的景観の担い手となりえる存在であることが確認できた。こうした協議プロセスの中で官民で共有された目的意識を「久賀島景観まちづくり計画(案)」として取りまとめ、島の文化的景観とそれを支える暮らしを守るための第1歩とすることができた。</p>
今後の課題	<p>観光と暮らしの共生に向けて、まず久賀島の滞在型観光スタイルを定着させ、島民が観光による収入を得られるようにするためのプログラムを実施し、まず島民が安心して島で暮らせるようになることが、何より大切なことである。しかし、持続的に観光客に来てもらうために、島内だけでなく他地域と連携し、より多様な久賀島の観光のあり方を検討していかなければならない。また、島の景観と暮らしを守っていく「次の担い手」をつくっていくために、島外の人びとの協力を得る具体的な方法を検討していく必要がある。</p>

今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・久賀島まちづくり協議会の継続(さらなる行動へ) ・久賀島地区の重要文化的景観申し出(平成22年度以降) ・久賀島を含めた五島市での民泊の開始(平成22年度) ・久賀島地区景観計画の施行(平成22年度) ・久賀島ガイドツアーマニュアルの作成(平成22年度) ・島内観光基盤の整備(観光インフォメーション、案内サイン、レンタサイクルの導入他) ・閉校となった小中学校の利活用の具体化に向けた検討 ・観光協力金の仕組みの検討の継続
市町村名	長崎県五島市
部局／担当者名	建設課／中村國夫・石田厚広
連絡先	TEL : 0959-72-6118
リンク	www.city.goto.nagasaki.jp

(写真又は図)



島民との意見交換



島民との意見交換



島民との意見交換



観光ガイドブック



観光ガイドブック